

瑞雲

明日を拓く

直方鉄工青年会

第62号
平成6年5月20日

スローガン

「温故知新—チャレンジ2001!!」

会長就任にあたって



第30代会長

村井 昇

昭和39年、会員10数名で設立されたこの直方鉄工青年会も、歴代会長の強いリーダーシップと諸先輩方の努力のお陰で、今年で30周年を迎えることになりました。

入会以来15年、この大事な節目の会長として任命を受け責務の重大さを痛感しておりますが、この鉄工青年会の伝統を汚さぬ様微力ながら会の為、尽力いたすつもりでありますので会員の皆さんはもちろんの事、関係諸団体の方々の積極的な御助言、御指導を心よりお願いいたします。

私は本年度のスローガンを青年会が設立されて30年という歴史を考えて、「温故知新—チャレンジ2001」ということを掲げております。賢者は歴史に学び愚者は経験に学ぶという古いことわざがあります様に、私達が何か新しいことをやるには、古きを学びそしてこれを次なるものへのステップとする努力が必要ではないでしょうか。鉄工青年会は昭和39年、当時のエネルギー革命による石炭産業の崩壊という沈滞したムードの中で設立されましたが、当時のエネルギーな諸先輩方の努力や団結により現在の鉄工界、鉄工青年会を築いてこられました。当時この鉄工青年会が設立された背景、意味、事業内容等今一度考え直して、とかくマンネリ化しがちの事業や組織の運営を原点に戻り見直したいと思えます。

次に本年度の活動方針としまして第1に、

参加、親睦、情報交換であります。毎月行なわれる例会、委員会に積極的に参加をし、より親睦を深めお互い切磋琢磨しながら常に新しい情報交換を行い自分自身、企業、そして青年会の発展の為、尽くしていきたいと考えております。

第2に会員の拡大であります。今年は会員数47名でスタート致しますが昨年度より5名、過去一番多い年より18名も少ない訳であります。直方鉄工青年会の伝統を守り又、地域社会の発展に貢献していく為にも会員の拡大は不可欠だと考えております。

第3に今年の秋に予定しております創立30周年の記念式典、並びに記念事業を会員の英知と総力を結集して是非とも成功させ、思い出深い事業にしたいと思っております。

バブル崩壊後の日本の経済は底入れのきざしが見えるとはいえ構造不況、設備過剰、円高によるリストラ、政治の不安定などの諸条件が重なり合い、今だ厳しい状況にあります。我々の業界も例にもれず不況のど真中にありますが、不況を理由にグチをこぼさずこういった時にこそできない事にチャレンジする事も必要ではないでしょうか。ピンチこそチャンスなりと言います。こういった時だからこそ前向きに会員同志が、常日頃から一致協力し、情報交換を行いながら新しい道を切り拓くべきです。又、直方鉄工協同組合の事業に対しても、積極的に参加協力していきながら直方の基幹産業としての自覚を持ち、明日を拓く直方鉄工青年会でありたいと思えます。

一年を振り返って

第29代会長



得居 慎一

平成5年度の事業会計監査を受け、褒賞の準備を行い、さらに卒業会員の感謝状の原稿作成を終えて、ああ、これで一年の任期がおわったんだなあ実感しております。振り返ってみますと、あっという間の短い一年の様に感じられます。4月の通常総会から、3月の夫婦同伴、卒業会員送別例会までの事が走馬燈の様に思い出されます。

昨年度は従来に無く、多くの助成金の交付を受け、例年以上の多額の予算規模を持った年度として、活発な充実した事業を行えたと思います。

大変非力な会長であったと、反省しておりますが、ご協力いただいた副会長をはじめ、役員、会員の皆様方、又青年会活動に暖かい

ご理解ご援助をいただきました関係諸団体の皆様方に紙面を借りまして、御礼申し上げます。ぶじに一年を終えることが出来ました。本当に有り難うございました。心より感謝申し上げます。

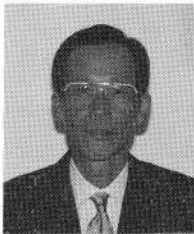
さて今年度は創立30周年という記念すべき年度になります。村井会長を盛り上げ、事業の遂行に協力する決意であります。会員の方々も同様に全員一丸となって今年度の青年会の事業を成功させる様に努力、協力をお願いいたします。

入会して、15年が過ぎました。16年目の今年、どこかの球団のコピーではありませんが、『16年目の初心』をキャッチフレーズに『人を愛する』をテーマにして今年一年を活動して行きたいと考えております。歌の詩ではありませんが、♪人を愛する為に人は生まれてきた♪のです。人を憎んだり恨んだりせず、人を理解し愛して行ける様に努力実行したいと考えております。

一年間ご援助ご協力有り難うございました。

ご卒業おめでとう

卒業を迎えて



竹内 満

青年会には通算9年程の在籍でしたが、2度も入会したという経歴がありまして、ここでは後に入会した時の事を書かせてもらいます。

6年間の入会でしたが、この間世の中の移り変わりも目まぐるしく、入会時非常に景気が悪くその後近年に無い好景気が長く続いて、現在はどうしようもない程の大不況です。こんな時に卒業とは淋しい限りです。

短い期間でしたが、始めて海外旅行に行った事、会計の時にお金が合わなくて会計監査を受ける前の一週間位、仕事にならなかった事、役員の忘年会が博多であり2次会以後、

同級生3人と朝方まで飲んだ事が楽しくて妙に記憶に残っているし、厄払いを沢山の人に執り行ってもらい大変嬉しかった事等、懐かしい思い出ばかりです。

今思いますに、村井武久、岩野両先輩の熱心な勧誘のお陰で沢山の人と知り合えましたし、気の合う仲間も出来ました。

又、再三役員に取り立てて貰っていい勉強が出来た事等、私には大きな財産となりました。

最後に青年会には何の役にも立てなくて卒業する事を大変申し訳なく思っています。

会員の皆さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。

卒業を迎えて



坂田 幸一

昭和49年、吉岡鉄工所の岩野博之さんの紹介で、当時第9代若林武己会長の時、この伝統ある直方鉄工青年会に入会させていただき、早いもので20年が過ぎました。当時、鉄工界に知り合いの少ない私にとりましては、誠に有難いことでした。

第14代山本忠士会長の時、初めて経営副委員長に任ぜられて以来、毎年何らかの役を仰せつかりました。話すこと一つとりましても入会当初は例会でも緊張し、会員の方々とはひと言も話さず帰ることもあり、人前で話をするなど大の苦手な私でありましたが、色々な役をさせていただく過程で、自己修練の機会を与えていただいたと、有難く思っております。

そして平成4年には、第28代会長を務めさせていただきました。こうしてペンを走らせていますと、色々な思い出が走馬燈のように

駆けめぐりますが、特に印象深いのは、やはりこの会長時代のことです。沖縄旅行での初めてのスキューバーダイビング、臨時総会での会則改正、他団体との様々な研修や交流等の活動も楽しく、厳しく、又勉強になることばかりでした。そして無事にその責任を全う出来たことは、第一線で協力してくれた役員をはじめ、諸先輩方のお陰と、改めて感謝している次第です。

この20年間の青年会活動を通して多くの良き先輩と出会い、又たくさんの仲間と知り合い、その中で学び得た事は私の大切な財産であり、これからの人生の中で生かしていきたいと思えます。

いよいよ今年度は30周年!!村井会長のもと一致団結して30周年という大輪の花を見事に咲かせて下さい。期待しています。

最後になりますが鉄工青年会ならびに会員の皆様の益々の御発展をお祈り致します。

長い間、ありがとうございました。



卒業を迎えて



高倉 堅

昭和57年、西尾英治さんの紹介で、直方鉄工青年会に入会させていただきました。早いものであし、かけ13年にもなります。今年、卒業の年を迎え、13年間を振り返ってみますと、楽しかった事、悲しかった事、苦しかった事等、様々な思い出が走馬燈のように、頭の中に去来します。

まず青年会に入会した年の大運動会で、鋳物部会員として、200mを全力疾走した時のあの苦しき、(今の年齢だったら、足がもつれて到底できそうもありませんが...)初めての韓国旅行でのカジノの魅力あふれるおもしろさ、沖縄旅行でスキューバーダイビングを初体験した時の海中の神秘さ、ただ残念でならないのは、現役会員だった村井雅博君と小

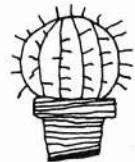
出恵二郎君の二人を不幸にも失なったこと等、それぞれの行事を通して、会員の皆様方とのふれあいが映画のひとコマひとコマのように、鮮明に懐かしくおもい出されます。

私にとりまして、青年会とは素晴らしい先輩、後輩、同僚あるいは、第二世代の経営者との出会いの場、そして私自身の勉学の場です。

この価値ある鉄工青年会を3月をもちまして卒業しなくてはならないのは非常に淋しい思いがします。機会がありましたら公私をとわず参加いたしたいと思っておりますので、一声おねがいます。

最後になりましたが、得居会長一年間お疲れさまでした。村井新会長はじめ会員の方々力を合わせて30周年を成功させ、さらに鉄工青年会を大きく飛躍させて下さい。

長い間本当にお世話になりました。



卒業を迎えて



吉田 一

今年で46才、入会して22年、子供達よりも長い付き合いである。鉄工青年会と云っては飲み、鉄工青年会と云ってはゴルフに、中央会と云って

は旅行に、家族の冷たい視線を背中によく参加させていただきました。?

ほんとうに鉄工青年会のおかげです。

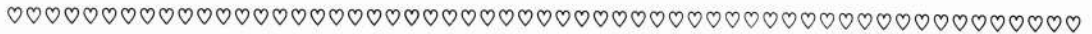
その反動で今は、仕事、仕事?

不況だけではなく、人手不足、労働時間の短縮など、様々な問題を抱えいかに生き残っ

ていくか、自分なりに努力して、頑張っていきたいと思います。

最後に、現会員の皆さん、よく遊び、よく学び、得意先、会社でのストレスを発散させて下さい。皆さんの、健闘を祈ります。

長い長い間、本当に有り難う。



ご結婚おめでとう



牛島 弘樹

3月27日に結婚式を挙げ、得居前会長、村井会長をはじめ多くの方々にご出席いただきまして、無事終える事が出来ました。

(ありがとうございました。)

感動の式を終えた次の日から待っていたものは、新しく住む家の整理でした。

(これがとても大変でした。)

自分としては、楽しい生活を夢見ていたのですが、現実とは全々違ってあわただしい毎日をおくっています。

今までは、家庭の事は親まかせだったのですが、これからは二人でなくてはならず心やすまる日がありません。しかも嫁さんは妊娠5ヶ月のためあまり動けないので、その分自分に負担がくるので大変です。

しかし、これからは社会的責任も大きく、疲れるからしないと甘えてはいられません。

なんと言っても今年の9月には子供が生まれるのでこれをはげみに、苦難の毎日を耐えぬいていこうと思います。

そして、これから予定どおりいけば、後22年間直方鉄工青年会に在籍する事になりますが、夫婦共々よろしくおねがいたします。

新入会員の紹介

氏名	和才敏之	勤務先	(有)扇鋼材
生年月日	S45年9月21日	所在地	直方市大字赤地173番地
自宅住所	北九州市八幡西区 塔野3丁目4-7	勤務先TEL	09492-4-5505
自宅TEL	093-613-1954	役職	工場長
趣味	スキー	業種	鋼板溶接、剪断、 加工販売、一般鋼材販売



この度、協和鉄工所・村井昇様のご紹介により、伝統ある直方鉄工青年会に入会させて頂くことになりました。

私は5年間、関西の電気メーカーにてICメモリの商品企画を担当しておりました。企画した商品の大半は、ゲームのプログラム用メモリとして現在も使用されております。

仕事内容は全く違い、とまどう毎日ですが、

今後は会社、鉄工業者皆様のために良い仕事が出来よう勉強致します。また、本年度は創立30周年と節目の年であり、先輩方々が築いてこられた歴史ある青年会に、少しでもプラスになるような活動をして行きたいと考えております。

何とぞ今後とも、いっそうの御指導御鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

平成6年度通常総会開催される

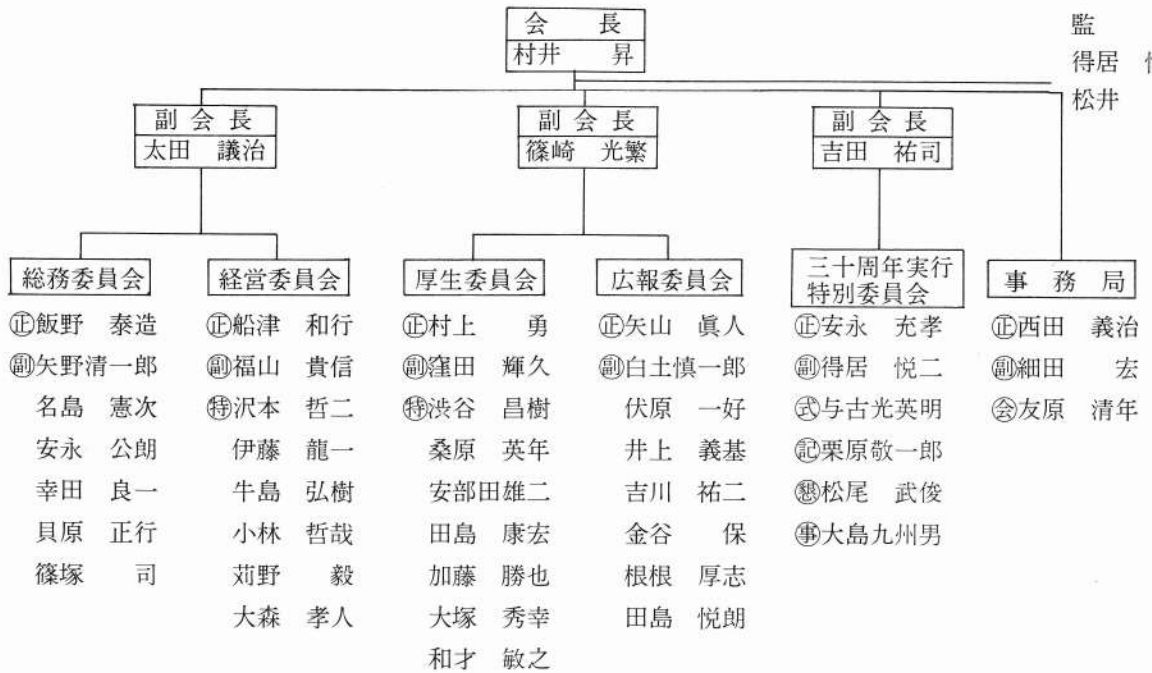


平成6年4月23日(土曜日)午後5時からマインド21において通常総会が開催されました。村井新会長の就任あいさつと、新スローガン「温故知新一チャレンジ2001」が発表されました。そのあと卒業生、新入会員の紹介、褒賞の表彰があり議案審議にうつりました。

今年も例年通り、新会長を全面的にバックアップするという事で反対意見もなく、無事定刻通り終了することができました。総会終了後懇親会に入り、多数の御来賓や諸先輩方々が御出席された中、不況を吹き飛ばす様な盛大なパーティが行なわれました。

担当の総務委員会の皆さんご苦労様でした。

平成6年度組織表



平成6年度事業計画

	総 務	経 営	厚 生	広 報	30周年特別	その他事務局
4月	通常総会				記念誌	
5月	例 会		ボーリング大会 (例会)	瑞雲 62号		
6月	例 会	経営セミナー (例会)				
7月	30周年準備例会					まつりくらじ (例会)
8月	例 会		ナイター観戦 (例会)			
9月	30周年準備例会					
10月	例 会				記念事業	
11月	例 会				記念式典	
12月	例 会		韓国研修旅行 (例会)	瑞雲 63号 新年会(例会)		
1月	例 会					
2月	通常総会					
3月	例 会	夫婦同伴 (例会)		かわら版 (年2回発行)		

会員の英知と総力を結集して30周年を成功させよう!!